情報処理サンプル

平成２９年６月２８日（水）

1. 数式

複雑な数式は、挿入タブから「π数式」をクリックして、メニューの中から必要な記号を拾って作成します。「π数式」の横の ▼ ボタンからいくつか組み込みの数式が選べ、更に 「Office.com のその他の数式」を利用することもできます。

例：ガウス積分

例：リーマンのゼータ関数

例：シュレディンガー方程式

べき指数や添え字しか使わない簡単な数式であれば、フォントの上付き・下付き指定で結構書けます。数学式はフォント Georgia の斜体を使うとそれらしく見えます。また、文の先頭文字が勝手に大文字になってしまうときは、「Aa▼」の ▼ ボタンで「すべて小文字にする」に修正します。

例：フィボナッチ数列の漸化式

*an*+2 = *an*+1 + *an*

例：双曲放物面の方程式

*z*2 = *x*2 - *y*2

例：化学反応式

2H2 ＋ O2 → 2H2O

1. グラフの貼り付け

文章中に貼り付けた例：

|  |  |
| --- | --- |
| 表を挿入して貼り付けた例  （文字を回り込ませることができる） |  |